



令和6年10月
150号

こんにちは!! やまがたむら 議会です



実りの季節となりました



発行：長野県山形村議会（代表）大月民夫 編集：議会広報編集特別委員会

山形村ホームページ <https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>
TEL.0263-98-3111



令和5年度の決算を認定

一般質問

七人が村政課題について質す

- 竹野入恒夫 ・ 有害鳥獣の現状について
- 小林 幸司 ・ スカイランドきよみずを含めた高原一帯の今後の利用計画は
- 百瀬 昇一 ・ 村の豊かな自然を維持するために村民あげての環境づくりを
- 大池 俊子 ・ 村民の様々な発想を活かし150周年を出発点に
- 新居 祢三 ・ 地震対策の手薄な問題解決は
- 春日 仁 ・ 中学校部活動・地域移行の進捗状況は
- 上條 優司 ・ 山形村の農業は守りれているか

魅力ある村づくり

主役はあなたです

議会モニター募集中

村民の皆様の貴重な声を議会に届けてください。
あなたの応募をお待ちしています。



令和6年 第3回山形村議会定例会

令和6年第3回山形村議会定例会が9月3日開会し、17日まで15日間開催された。

令和6年度補正予算など21件（陳情2件、認定7件、議案11件、追加議案1件）を審議し、陳情を採択し、令和5年度の決算を認定、全議案を可決した。

一般質問は7人が登壇し、5日に村政全般について質問を行なった。

主な議案の審議結果

	議案等内容	結果
陳情	<ul style="list-style-type: none">・国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情・政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	採択 ✓
認定	<ul style="list-style-type: none">・令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について・令和5年度山形村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について・令和5年度山形村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について・令和5年度山形村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について・令和5年度山形村水道事業会計決算認定について・令和5年度山形村清水高原簡易水道事業会計決算認定について・令和5年度山形村下水道事業会計決算認定について	認定 ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓
議案	<ul style="list-style-type: none">・令和5年度山形村水道事業会計剰余金の処分について・松本広域連合の消防費負担金算定基準の変更及び松本広域連合規約の変更について・長野県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について・山形村犯罪被害者等支援条例の制定について・山形村国民健康保険条例の一部を改正する条例について・山形村清水高原簡易水道建設改良基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例について・令和6年度山形村一般会計補正予算（第3号）・令和6年度山形村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）・令和6年度山形村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）・令和6年度山形村介護保険特別会計補正予算（第2号）・令和6年度山形村水道事業会計補正予算（第2号）	可決 ✓ 賛成多数 可決 賛成多数 可決 ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓
追加議案	・令和6年度山形村一般会計補正予算（第4号）	可決

その他、同意2件と諮詢1件があり、それぞれ同意・答申を行なった。

同意は、山形村固定資産評価委員会委員の選任に上竹田の上條君俊氏、教育委員会委員の任命には上竹田の宮澤美香氏を提案どおり同意した。

諮詢は、人権擁護委員候補者の推薦については、上竹田の百瀬博之氏を提案どおり答申した。

一般質問

議員7名が

村政を問う

一般質問は9月5日、議員7名が登壇、村政全般について質問を行なった。



上條倫司議員

山形村の農業は守られているか

Q 村長 持続可能な経営体の確保を検討したい

A 今、地球規模での環境問題が大きな課題のひとつである。農地を守るために、環境問題に配慮をしながら、非農家との調和も図りながら、収益の上がる持続可能な農業を行なうことが農地を守ることのひとつである。農業继続者としての地域おこし協力隊の受け入れなど、どのような考え方か。

Q 今、地球規模での環境問題が大きな課題のひとつである。農地を守るために、環境問題に配慮をしながら、非農家との調和も図りながら、収益の上がる持続可能な農業を行なうことが農地を守ることのひとつである。農業继続者としての地域おこし協力隊の受け入れなど、どのような考え方か。

A 今、地球規模での環境問題が大きな課題のひとつである。農地を守るために、環境問題に配慮をしながら、非農家との調和も図りながら、収益の上がる持続可能な農業を行なうことが農地を守ることのひとつである。農業继続者としての地域おこし協力隊の受け入れなど、どのような考え方か。

農業センサスからの山形村の方向性はどうになっているか。

Q 今後の山形村の農政の主要課題として、持続可能な経営体の確保を、村をあげて行なっていくことではないかと考えている。

A 農家と住民の間にトラブルがあると聞くが、どのように対処しているか。

Q 住宅地や生活道路が農業の生産エリアと混在、または隣接する環境を背景に起る問題である。個人のトラブルに役場が直接対応することはないが、電話やEメールなどで寄せられる声では、スプリンクラーの水が一般の車両や通行人にまでかかることがある。農作業で畑の土が大量に道路に持ち出されたままといったこと、圃場での残渣の焼却のことなどが目立つ。営農活動上やむを得ないと思われることもあるが、一方で度を超えたものは周囲への配慮や改善が必要な場合も散見される。内容によってはいただいた電話で農業環境の事情を説明したり、現場を確認したうえで当事者に自重を促したりと、対応はそれであると考える。

Q 雑草の飛散種子対策は。

A 個人の責任において管理すべきものなので、行政の対策というよりも、まずは周囲や関係者などの声も借りて、当事者に直接的に注意する、改善を喚起することが原則であると考える。

中学校部活動・地域移行の進捗状況は
教育長 令和7年度末までに休日部活動を、令和8年度には、平日部活動も段階的に地域移行をすることを目指している



春日仁議員

鉢盛中学校で配備する「総括コーディネーター」とは。

Q 鉢盛中学校は学区が広いため、送迎にかかる移動時間や費用負担などを考慮すると、鉢盛中学校を会場とするなど身近な場所での地域クラブ活動が望まれるため地元での活動を促進し、鉢盛中学校を会場としたクラブや、地域クラブの運営支援などを実施できるようになる調整役である。

Q 村既存の文化・芸術・スポーツ団体への中学生受け入れの働きかけ、指導者の育成、活動にあたっての施設の提供など、どのようにお考えか。

A 既存の文化・芸術・スポーツ団体への働きかけは必要だと考えている。近隣の松本市や塩尻市などとも連携して多様な選択肢を整えていきたい。指導者の育成については近隣市等で開催される指導者資格取得研修などに参加を促進していきたい。また、活動にあたっての施設提供についても、鉢盛中学校の活動に限らず、積極的に施設の開放を研究していきたい。

地震対策の手薄な問題解決は

村長 各課題に対しても研究をしていく



新居禎三議員

A 職員の防災士資格取得を進めていく。
Q 取得者の活動をどのように進めるのか。
A 現状取得者が少ないので、特段活動を行なっていないが、今後職場や地域で防災意識の啓発や防災リーダーとして災害時の対応に当たつてほしい。
Q 耐震基準を満たしていない住宅の診断
A 改修に付けて、具にこちらに補助事業

A まう。村民の不安を解消するためにも、補正予算などで迅速に耐震改修を行なえる態勢づくりはできないのか。

どこに問題があるのか、村民の地震に対する意識など研究して進めたい。



空調設備のない 指定避難所になる体育館

A めるの A たか。

特段行なつてはいない。

指定避難所のトレーニングセンター一体育館の空調設備など対策はどのように進むのか。

**村民の様々な発想を活かし150周年を出発点に
イベントや事業に自主的に関わることが重要**



大池俊子議員

Q 明治7年に大池、小坂、竹田村が合併し山形村が誕生して150年となる。全村民参加型にするための提案事業はど

のくらいあるか。

村民が自ら企画・実施を行なう事業に対し
て10万円を上限に交付する事業は10件ある。

Q 福祉バスの増発や、自力で行けない人のために社協との連携でイベント開催時の足の確保を。

A 村の活性化のために活動をしたいと考
える人たちに、トレセン、役場の敷地な
どの利用はできないか。「塩尻えんてらす」
のように利用しやすいものにはならないか。
各施設の管理条例に基づき貸し出しし
ているが、規定のない公園や駐車場につ
いては「行政財産の目的外使用に関する条
例」に基づき許可している。公益性が認めら
れた場合は、使用料減免の対応もしている。
村の活性化のため、皆さんのご意見を二回



開村150周年記念花壇

村民あげての環境づくりを

長 地域の自治会及び各農業団体が連携を取り、環境づくりを中心につくくりを考えいく方法を考えていきたい



百瀬昇一議員

Q 総合計画の「環境を学び、考える機会の提供」「環境イベント」等開催は。

A 山形小学校では、「山形村共育の日」の学びの成果の発表会を行なう。開催は10月26日土曜日に体育館で行ない、一般の方も参加できる。

また、「みどりと環境を守る会」「社会福祉協議会」を中心に9団体が、「スマイルみどりん」の開村150周年の取り組みを行なう。こ

の取り組みは、自らの環境への関わり方を考えることになり、持続可能な地域社会の在り方について考え深めることとなる。

Q 総合計画の「生態系の保護」「生活環境・衛生環境の整備と保全」の今後の取り組みは。

A 「生態系の保護」「生活環境・衛生環境の整備と保全」については、どのように進めていくかが課題だが、地域が主導する持続的な活動を考えていく。

Q 村民あげての環境づくりを取り組める無理のない組織活動を引き続き支援していただきたい。

A 環境づくりを意識した、取り組める無理のない組織活動を引き続き支援していただきたい。

Q 在り方検討委員会の人員選定は。

来の5年間を1~2年程度に短縮できないかと意向が示されている。

A 本年度で指定管理期間が満了するが来年度以降の管理をどのように予定しているのか。

来年度に向けては非公募による指定管理者の選定を行なう方針で現在のドリームホテル側に期間の延長を打診している。従

A



小林幸司議員

Q スカイランドきよみずを含めた高原帯の今後の利用計画は

A 山形・清水高原在り方検討会を設置する

の取り組みは、自らの環境への関わり方を考えることになり、持続可能な地域社会の在り方について考え深めることとなる。

Q 総合計画の「生態系の保護」「生活環境・衛生環境の整備と保全」の今後の取り組みは。

A 「生態系の保護」「生活環境・衛生環境の整備と保全」については、どのように進めていくかが課題だが、地域が主導する持続的な活動を考えていく。

Q 村民あげての環境づくりを取り組める無理のない組織活動を引き続き支援していただきたい。

A 環境づくりを意識した、取り組める無理のない組織活動を引き続き支援していただきたい。

Q 在り方検討委員会の人員選定は。

来の5年間を1~2年程度に短縮できないかと意向が示されている。

A 本年度で指定管理期間が満了するが来年度以降の管理をどのように予定しているのか。

来年度に向けては非公募による指定管理

者同士の交流については村長にも興味を持つていた。

その他、他市町村との人材交流について質問した。その中でも茨城県八千代町との農業者同士の交流については村長にも興味を持つていた。



有害鳥獣の現状について

長
被害が発生する場合は
「村の獣友会」に依頼して駆除している



竹野入恒夫 議員

Q 有害鳥獣駆除を村
は獣友会に委託をし
て駆除しているが、山形
村の獣友会の現状規模は
(人数と体制)。

A 現在の獣友会の体制は、支部長以下13
名、駆除活動は2班体制で実施している。

有害鳥獣駆除の種類は。

種類はカラス、スズメ、キジバトなど
計7種類、猛獣はニホンザル、ニホンジ
カ、イノシシなど計7種類。



1頭あたりの駆除単価は。

A Q 喻対策協議会を設置して組織による体制
をとる。活動に従事する方々への報酬は、個
別に設定する駆除単価によるものではなく、
村、JA、生産者組織の3者から補助を行な
っている。ただ、檻を使うニホンザルの処分
についてはこれとは別に3千円を支払ってい
る。

近年の有害鳥獣駆除の実績は。

A Q 令和5年の駆除の実績として、早朝の
有害鳥駆除は5月～9月および2月の期
間の合計13日間実施し、600羽を超える鳥類を
駆除した。有害獣は、サル檻、くくり罠、箱
罠等の使用により、ニホンザル18頭、ニホン
ジカ13頭、イノシシ14頭などとなる。

サルの捕獲檻は村には上大池、小坂、

唐沢の3カ所あるが捕獲状況は。

A Q サルの捕獲実績は総数18頭。そのうち
5頭はくくり罠によるもの。

A Q 学校林付近にサルが多く出没している
が、捕獲檻の設置は考えていないか。

A Q 付近への檻の設置については、なにぶ
ん設備が非常に大掛かりなもので、これ
までも設置場所の選定には慎重に対応してき
た。他の場所への新設、移設は考えていない。
最近カラスの群れを西沖地区でも見る
が、対策は。



A Q 7月14日唐沢地区付近で熊の痕跡が確
認された。熊の捕獲対策は。

A Q ツキノワグマは元々駆除の対象ではな
い。そのため駆除を目的とした対策はで
きない。誤つてくくり罠にかかるしまう錯
誤捕獲があつた場合には、暴れて危険なため
状況を判断しながら捕殺するケースが多くな
る。

その他、林道の路肩に生い茂つてている草の
管理について質問した。

～学習会参加報告～

第1部では、地方自治研究所の坂本誠氏による講演が行われ、人口減少時代における持続可能な政策についてお聞きしました。

第2部では、飯綱町の集落創生事業や地域おこし協力隊の取り組みが紹介され、山形村でも参考になりそうな内容が多く含まれていました。



小林 幸司

8月18日に飯綱町において議員のなり手不足などを話し合う学習討論会が開催されました。

山形村からは新居議員、春日議員と私小林が参加してまいりました。基調講演では「消滅可能性を越えて持続可能な市町村の未来を描くために」と題して（公財）地方自治総合研究所の常任研究员の坂本誠氏から講演をいただき、その後3名の代表からの事例報告をしてもらい議論を深めました。そのうち2名は地域おこし協力隊より市議・村議になった方、もう1名は現在飯綱町の協力隊員として活躍されている方でした。3名とも地元出身ではないが移住しての苦労や、やりがいを見出して活躍されている様子を伺うことができました。



研修会報告

8月29日、森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・長野県連絡会議の総会並びに研修会が上田市で行なわれました。

県内69市町村が参加しており、令和6年度の活動計画が決定されました。

その後、「県産材の建築物への利用について」と題して、京都大学・生存圏研究所の五十田博教授から講演をいただきました。教授は長く信州大学に在籍されており、県内には森林が多くあるが、主に間伐材が合板などの加工材として利用されているものの、柱などの建築材は輸入材に押され樹齢50～60年の樹木が利用されず残されているとのことです。林業従事者の減少など課題はあるがもつと県産材を利用していくかないと、森林の世代交代も進まず山の持つ機能も失われていくことでした。



8月21日、東筑摩郡村議会議員大会が筑北村で開催されました。例年この大会では主に各村が課題になっている道路整備を中心に、県に対しても5村の課題をまとめ、後日県知事宛に要望を行なっています。

当村では令和4年度より県道新田松本線の臨空工業団地から記念碑交差点区間の歩道整備について要望しています。この道路は一部に狭い歩道の設置区間があるものの、交通量は多く、朝夕には児童生徒の通学路になつており、令和5年度より臨空工業団地から消防署交差点までの整備促進について歩道整備事業（一般国道新田松本の整備促進について）が実施されはじめましたが、早期に全区間の整備がされるよう引き続き要望しました。



通学路の歩道整備を要望

議会は地方公共団体の最終的な意思決定機関です
住民の立場に立った審議を ご一緒に尽くしましょう !!

山形村議会議員補欠選挙のお知らせ

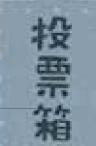
任期満了に伴う山形村長選挙の執行に併せて、1名の欠員が生じている【山形村議会議員】の補欠選挙が下記のとおり実施されます。

告示日

令和7年2月11日（火曜日）

投票日

令和7年2月16日（日曜日）



村会議員選挙の公営と供託金について

公職選挙法の一部改正に伴い、供託金（15万円）制度が導入されると共に、選挙公営制度（選挙運動費用の一部を公費負担する仕組み）を活用できるようになりました。

詳細につきましては、選挙管理委員会事務局に、お気軽にお問い合わせ願います。

選挙管理委員会
電話 0263-98-3111
FAX 0263-98-3078

22	18	11	10	9	8	2	25	24	20	17	12	11	10	9	5	3	28	27	23	21	14	9	8	30	26	25	23	19
日	日	日	日	日	日	10月	日	日	日	日	日	日	日	日	日	9月	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	7月
開村150周年記念式典	議会モニタリ意見交換会	朝日村・山形村議員研修会（山形村）	八千代町議会来村懇談会	要保護児童対策地域協議会	松塩地区広域施設組合議会	長野県町村議会第3回定期監査	長野県議会第3回定期監査	長野県議会第3回定期監査	長野市議会第3回定期監査	議会改革推進検討特別委員会	B研修会	議会全員協議会	議会運営委員会	福祉文教常任委員会	東筑摩郡議長協議会	山形村はたちの集い	議会改革推進検討特別委員会	福祉文教常任委員会	松本市・山形村・朝日村中学校組合議会									
（長野市）	（安曇野市）	（安曇野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（長野市）	（筑北村）	（筑北村）	（筑北村）	（筑北村）	（筑北村）	（筑北村）	（筑北村）		

議会日誌

私の一言



時代にあつたコミュニティ作りを

古屋 加代子さん（下大池）

山形村に住んで23年。子育てやボランティア活動など、その時々の仲間と楽しく過ごしてきました。ライフスタイルが変わるごとに、仲間が少しずつ変わつていき、たくさんママ友や知人、近隣所の顔見知りができました。これらのつながりにいつも感謝です。

昔ながらの地縁のつながりや地域のコミュニティの希薄さを感じることがあります。逆に時代に合ったコミュニティを作っていくことが大切だと思います。

実際に、三九郎と一緒にやつてきたママ友と集会所でお茶会を開こうと提案したばかりです。これから一緒に歳を重ねていく仲間として、安否確認や気楽な集まりでも良いかと思います。まだ実現していませんので、再度声を挙げたいと思います。待っていてください。

また、コミュニティ作りで大切なことは「親しき中にも礼儀あり」や「お互い様」「持ちはつ持たれつ」等の昔からの心構えです。協力がなまづいままの主張は、ただの自己主張と捉えられがちです。昔ながらの価値観も尊重しながら、時代にあつたコミュニティ作りが重要だと考えます。

「協力したいけど、何をしていいか分からない」という方は相談してください。人は一人では生きる時に、そして、思いを伝えるだけでも、何かできることがあるはずです。



少年サッカーに携わって

直井正一さん（中大池）

私が指導者になったのも、たまたま誘われて仕事なく引き受けたという理由でしたが、子どもたちとサッカーをするたびにどんどん楽しくなり、いつしか私ははまってしまいました。そんなきっかけから携わらせてもらつて15年になります。最初は楽しいことばかりではありませんでした。まわりの仲間たち、保護者の皆さん、それにはなり子どもたちに助けられながら楽しく続けてこられました。また昨年、山形少年サッカークラブは設立40周年という節目の年を迎えさせていただきました。これも今まで少年サッカーへ携わつていただいた方々のおかげだと感謝しております。また、今回このような特別表彰をいただき、驚きと嬉しさと同時に、身が引き締まる思いです。本当にありがとうございました。

先日、開村150周年記念イベントで、サッカーノ聖地ともいえるサンプロアルワインでサッカーができましたことも大変ありがたかったです。子どもたちも大変喜んでいました。またイベントの記事にて本庄村長の「村にサッカーが根付いてきている」というお言葉も大変嬉しいです。これからも村にサッカー文化が根付いていくように頑張つていただきたいと思います。



発行責任者

議会広報編集特別委員会

委員長 大月民夫
委員 委員長 上條倫司
委員 新居禎三
委員 小林禎三
委員 新居禎三
委員 幸司倫治
委員 仁治倫治
委員 大月春日福澤幸司
委員 委員長 上條倫司
委員 新居禎三
委員 小林禎三
委員 幸司倫治
委員 仁治倫治

旬の味

30年後の未来に、それぞれが夢を込めた「タイムカプセル」。中にには思いがいっぽい詰め込まれていた。村も、当時より人口が増えて税収増など発展?した。

▽異様に暑い日が長く続いたり、雨が降れば豪雨になつたり、自然の驚異を見せつけられる日々が急速に増えているような気がするが自然災害に対してなすすべは無いのか。

人間の活動により、気候変動が加速されている。一人一人が微々たることでも、足下の生活を見直して、資源の無駄遣いを減らし環境に優しい生活スタイルを意識して、今より一層循環型の社会を進めていかなければ、開村200年には、村でふるさと納税の返礼品で人気の長芋やりんごなどが過去の特産物になつてゐるかも知れない。

(新居 禎三)